

# 文京洙 教授 略歴・主要著作目録

## 略 歴

- 1977年 中央大学法学部政治学科卒  
1980年 法政大学社会科学研究所修士課程修了  
法政大学、神奈川大学などで非常勤講師などを経て  
1989年 国際基督教大学常勤助手（～1991年）  
1994年 立命館大学国際関係学部助教授、同教授（1998年～）  
2006年博士学位（地域政策学）取得

## 研究業績

### 【著書（単著）】

- 『済州島現代史：公共圏の死滅と再生』新幹社 2005年5月  
『韓国現代史』岩波書店 2005年12月  
『在日朝鮮人問題の起源』図書出版クレイン 2007年3月  
『済州島四・三事件—島（タナム）の国の死と再生の物語』平凡社 2008年4月  
『新・韓国現代史』岩波書店 2015年12月

### 【著書（共著）】

- 『現代韓国への視点』（共著者／鄭章淵）大月書店 1990年7月  
『在日はいま、在日韓国朝鮮人の戦後50年』（共著者／李進熙ほか8名）青丘文化社 1996年4月  
『在日外国人の住民自治』（共著者／李仁夏ほか6名）新幹社 2007年5月  
『在日朝鮮人 歴史と現在』（共著者／水野直樹）岩波書店 2015年1月

### 【著書（編著）】

- 『アジアの人びとを知る本 第5巻 アジアで生きる人びと』大月書店 1992年6月  
『増補・なぜ書きつづけてきたか、なぜ沈黙してきたか：済州島四・三事件の記憶と文学』（金

石範・金時鐘著)平凡社 2015年4月

### 【著書 (共編著)】

『ろうそくデモを超えて—韓国社会はどこに向かっているか』(共編者/川瀬俊二)東方出版  
2009年10月

『在日コリアン辞典』(共編者/朴一・鄭雅英ほか12名)明石書店 2010年11月

『エティック国際関係学』(共編者/佐藤誠・奥田宏司・原毅彦)東信堂 2011年3月

『危機の時代の市民活動:日韓「社会的企業」最前線』(共編者/川瀬俊二ほか7名)東方出版  
2012年4月

### 【翻訳 (単著)】

John Merrill『済州島四・三蜂起』新幹社 1988年11月

徐仲錫『韓国現代史60年』明石書店 2008年1月

### 【翻訳 (共著)】

Wilfred G.Burchett『カンボジア現代史』(共訳者/土生長穂・成田良雄)連合出版 1983年  
1月

Wilfred G.Burchett『広島 TODAY』(共訳者/成田良雄)連合出版 1983年3月

E. カメンカ編『社会的理想としての共同体』(共訳者/土生長穂)未来社 1991年6月

月刊『社会評論』編集部編『韓国社会論争』(共同監訳/梁光洙ほか2名)社会評論社 1992  
年10月

済民日報社『済州島4・3事件第1巻』(共訳者/金重明)新幹社 1994年4月

白楽晴『朝鮮半島統一論—揺らぐ分断体制』(共訳者/李順愛・鄭章淵・朴一)クレイン  
2001年3月

崔章集『民主化以後の韓国民民主主義:起源と危機』(共訳者/磯崎典世ほか4名)岩波書店  
2012年1月

済州4・3真相調査報告書作成企画団『済州4・3真相調査報告書』(共同監訳)済州4・3平和  
財団 2014年12月

### 【論文】

「第7回非同盟諸国首脳会議について」『月刊アジア・アフリカ研究』1983年6月号 アジア・  
アフリカ研究所

「国家分析のための機能論的枠組—第三世界における従属的資本主義諸国を中心に」『月刊アジ

ア・アフリカ研究』1984年3月号 アジア・アフリカ研究所  
「韓国における南北統一運動—1960～61年期を中心に—」『月刊アジア・アフリカ研究』1984年9月号 アジア・アフリカ研究所  
「韓国の軍事政権と国民意識」土生長穂・河合恒生編『第3世界の開発と独裁』大月書店 1989年1月  
「韓国における社会変革論争」『季刊・窓』4号 窓社 1990年4月  
「国際関係の展開と第3世界」土生長穂編『21世紀の第3世界』大月書店 1991年2月  
「70年代韓国の精神と尹興吉文学」『学苑』619号 昭和女子大学近代文化研究所 1991年5月  
「韓国社会と市民文化」『アジア・アフリカ研究』31巻4号 アジア・アフリカ研究所 1991年11月  
「韓国の政治文化と維新体制」小林謙一・川上忠雄編『韓国の経済開発と労使関係』法政大学出版局 1991年12月  
「現代韓国の都市小説」『学苑』621号 昭和女子大学近代文化研究所 1992年5月  
「世界史の中の日韓条約」『季刊・青丘』16号 青丘社 1993年7月  
「済州島4・3事件前史に関する研究（上）」『雑誌・済州島⑥』新幹社 1993年11月  
「在日朝鮮人にとっての国民国家」歴史学研究会編『国民国家を問う』青木書店 1994年5月  
「近代世界のなかの日本と朝鮮」『歴史評論』歴史科学協議会 534号 1994年10月  
「済州島4・3事件前史に関する研究（下）」『雑誌・済州島⑦』新幹社 1994年12月  
「近代日本の国民国家形成と朝鮮」西川長夫・松宮秀治編『幕末明治期の国民国家形成と文化変容』新曜社 1995年3月  
「在日朝鮮人にとっての戦後」中村政則他編『戦後日本・占領と改革第5巻』岩波書店 1995年11月  
「戦後世界システムの展開と韓国の工業化」中央大学社会科学研究所研究報告『統合するヨーロッパ・重層化するアジア18』 1997年3月  
「日韓関係をめぐって」立命館大学人文科学研究所編『戦後50年をどうみるか（上）』人文書院 1998年3月  
「在日朝鮮人問題の起源」佐藤誠・A. J. フィールディング編『移動と定住 日欧比較の国際労働力移動』同文館 1998年9月  
「韓国における地域社会の変容と住民自治」『アジア・アフリカ研究』39巻3号 アジア・アフリカ研究所 1999年7月  
「韓国の都市形成と住民自治—民主化過程における地域主義と住民自治の相克」土生長穂編『開発とグローバリゼーション』柏書房 2000年4月  
「グローバリゼーションと公共性—韓国における国民的競争国家と民主主義」関下稔・小林誠

- 編『統合と分離の国際政治経済学』ナカニシヤ出版 2004年4月
- 「戦後60年と在日朝鮮人“国民”の呪縛を超えて」『思想』2005年12月号No.980 岩波書店
- 「韓国における市民社会と公共圏—デジタル・デモクラシーの射程」松下洸編『途上国社会の現在 国家・開発・市民』法律文化社 2006年2月
- 「韓国の人権 過去・現在・未来」『月刊部落開放』解放出版社 2006年12月号
- 「盧武鉉政権の遺産と李明博政権下の韓国」『アジア・アフリカ研究』46巻4号 アジア・アフリカ研究所 2007年12月
- 'Origins of Current Problems of Korean Residents in Japan' Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies, Center for Islamic Area Studies at Kyoto University, 2009/06
- 「ドイツ統一と朝鮮半島 ハーバーマスの介入とその後」『神奈川大学評論』60号 2010年3月
- 「グローバル時代日本社会の変化と在日コリアン」『日本の韓人の歴史(下)』韓国国史編纂委員会 2010年7月(ハングル)
- 「日本と韓国 歴史意識の相克」『現代の理論』25号 2010年10月
- 「100年の葛藤を超えて—戦後日韓関係と相互認識」『アジア・アフリカ研究』51巻1号 アジア・アフリカ研究 2011年2月
- 「戦後日韓関係と市民社会の課題」松下洸・藤田和子編『新自由主義に揺れるグローバル・サウス』ミネルヴァ書房 2012年10月
- 「戦後在日朝鮮人の生活と日本社会」安田常男編『シリーズ戦後日本社会の歴史④社会の境界を生きる人びと』岩波書店 2013年3月
- 「在日朝鮮人からみる日韓関係—<国民>を超えて」磯崎典世・李鍾久編『日韓関係史1965-2015 Ⅲ 社会と文化』東京大学出版会 2015年10月

## 【書評】

- 滝沢秀樹著『韓国の経済発展と社会構造』(御茶の水書房)『アジア経済』1992年12月号
- 崔章集著『現代韓国の政治変動』(中村福治訳, 木鐸社)歴史学研究会編『歴史学研究』719号 1999年1月
- 伊地知紀子著『生活世界の創造と実践—韓国・済州島の生活誌から』(御茶の水書房)日本史研究会編『日本史研究』476号 2002年4月